

DX 推進基本方針

1. ビジョン

当金庫は、「はたらく人のための福祉金融機関」としての理念のもと、DX の推進を通じて業務の高度化・効率化とサービス向上を実現し、持続可能な金融機関をめざします。

また、デジタル技術を活用した新たな価値の創出に取り組むとともに、対面とデジタルの強みを生かした質の高い金融サービスを提供し、営業店を「相談の拠点」として位置づけ、会員・お客さまに寄り添った相談・提案活動の充実を図ります。

これらの取り組みを着実に推進するため、経営陣の主体的な関与のもと、全役職員が一体となって DX の推進に取り組んでまいります。

2. 「DX」の定義

「DX（デジタルトランスフォーメーション）」とは、デジタル技術やデータを活用して、お客さまへのサービスや業務のあり方を変革し、新たな価値を創出することをいいます。

当金庫における「DX」は、業務効率化を目的とするだけでなく、お客さまの利便性向上や新たなサービスの提供を通じて、組織全体の変革を実現していく取り組みと定義します。

3. DX 実現に向けた段階的な取り組み

「DX」の実現に向けて、前段階である「デジタイゼーション」「デジタライゼーション」を着実に進めます。

(1) 第1段階：デジタイゼーション（Digitization／紙をデジタルにする）

「デジタイゼーション」とは、紙の書類や押印、手作業による業務をデジタル化・電子化することです。申込書や帳票の電子化、申請・承認のオンライン化などにより、業務の効率化やペーパーレス化を実現する取り組みです。

(2) 第2段階：デジタライゼーション（Digitalization／業務のやり方を変える）

「デジタライゼーション」とは、デジタル化された情報を活用し、業務フローを見直して効率化を図ることです。単に紙を電子化するだけでなく、システム間のデータ連携や重複入力の削減、承認手続きの簡素化などにより、業務プロセス全体の最適化を実現する取り組みです。

4. DX 推進の取り組み

DX の推進においては、(1) 業務改革、(2) システム化、(3) 人財育成、を重点項目として、様々な取り組みを進めます。

なお、DX の推進にあたっては、関係法令および金融庁の各種ガイドライン等を遵守するとともに、適切なガバナンスおよびリスク管理のもとで運営します。

(1) 業務改革

生産性の向上と職員の働き方改革を実現するため、生成 AI をはじめとするデジタルツールを積極的に活用し、文書作成、情報検索、問い合わせ対応などの業務効率化を進めます。また、書面や手作業に依存している業務については、デジタル化・自動化・ペーパーレス化を通じて、業務プロセスの見直しと標準化を図ります。

(2) システム化

安定的かつ持続可能なシステム運用を実現するため、デジタル技術を活用した業務基盤の整備を進めます。また、システムの導入・更新にあたっては、全体最適を前提に計画的かつ効率的な運用を行います。なお、業務に最適な IT ツールやシステムの活用を図るため、各部署が利用する IT ツールやシステムを可視化し、費用対効果、業務効率化、リスク管理、将来拡張性などを総合的に評価します。

(3) 人財育成

DX 推進を支える人財を育成するため、職員一人ひとりの IT リテラシーおよびデータ活用力の向上を図ります。あわせて、生成 AI や各種デジタルツールの活用研修、データ利活用に関する教育機会の充実に取り組み、デジタル技術を業務に活用できる人財を育成します。

以 上

2026 年 7 月 28 日制定
九 州 労 働 金 庫